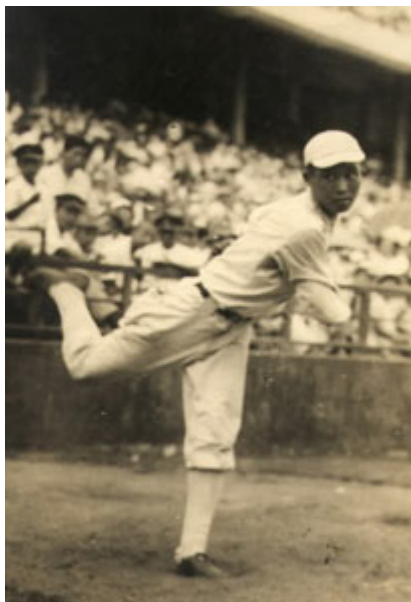


## 終戦直後の快進撃 京の人に大きな感動

### 二中のエース 田丸さん死去



旧制京都二中(現鳥羽高)のエースとして1946年、戦後初の第28回全国中等学校優勝野球大会で準優勝した田丸道夫さんが4日、亡くなった。終戦直後の大会で、快進撃が京都の人たちに大きな喜びを与えたといわれる。大学卒業後は京都の高校や大学の指導者として腕を振るい、甲子園出場も果たすなど野球一筋の人生だった。

第28回全国中等学校優勝野球大会は、甲子園球場がGHQに接收されていたため西宮球場で開催された。主将の田丸さんは、開会式で選手宣誓の大役も果たした。

チームは田丸さんを中心にまとめ決勝まで快調に勝ち上がった。浪華商(大阪)との決勝は0-2で惜敗したが、エースの力投に京都の人たちは一喜一憂した。「戦後の娯楽のなかった時代。中等学校の野球大会で準優勝した父は、今の江川や松坂並みの有名人だったようです」と、長男道哉さんは振り返る。

慶大卒業後、堀川高で15年間、京産大で6年間、監督を務めた。堀川高では56年春の選抜高校野球大会に初出場させベスト8進出を果たした。京産大では73年春の京滋大学リーグで優勝、入れ替え戦も勝って旧関西六大学リーグ昇格も果たした。

京都二中でバッテリーを組んだ金森勢雅さん(73)=京都市下京区=は「右のスリークォーター投げで、鋭いシュートが武器だった。京都府大会の優勝の時には選手全員がトラックに乗って京都市内をパレードしたのを思い出す。おおらかな人で京都の野球界の重鎮のような人だった」と惜しんだ。

(2004年7月 京都新聞)